



# セーフティオフィサ (SO)

## 資格認証制度のご案内

### マネジメント 安全資格

## 企業として必須の「安全」に関する知識保有と理解を認証する資格制度 —— 安全マネジメント資格取得により職場のウェルビーイング(Well-being\*)が向上 ——

\*「Well-being」とは、個人の権利や自己実現が保障され、身体的、精神的、社会的に良好な状態にあることを意味する概念です。(厚生労働省)

セーフティオフィサ (SO) 資格認証制度は、企業トップを含む経営層及び管理者層やスタッフ層の安全に対する知識や理解の確認を目的とした要員教育認証システムです。企業においては、顧客、従業員、社会などに対する安全の維持、確保が必要ですが、セーフティオフィサ (SO) 資格は、これら企業運営に関わる企業人にとって必須の「安全」に関するマネジメント資格です。セーフティグローバル推進機構 (IGSAP) が制定・制度化し国際的にも通用する資格として普及推進しています。マネジメントを担当するセーフティオフィサ (SO) 資格者が、機械安全の知識・能力を有する安全資格者であるセーフティアセッサ (SSA/SA/SLA) と共に、企業内において協力・連携することにより、企業全体の安全化への推進力が高まり、安全性だけでなく生産性の向上など、企業の成長や価値向上をもたらす効果が期待できます。

### 職務に応じた三つの資格区分



### セーフティエグゼクティブ (SE) 資格…… 経営者層の方対象

安全に対する正しい知識と深い見識を持ち、CSO (チーフ・セーフティ・オフィサ) 等の立場で安全経営においてリーダーシップを発揮し、全社に対して安全を推進できる能力と強い意志を有する。



### セーフティマネージャ (SM) 資格…… 管理者層の方対象

安全に対する正しい知識と見識を持ち、安全の指導者、監督者として、社員に対して安全に関する取り組みを正しく指導、推進できる能力と意志を有する。



### セーフティスタッフ (SS) 資格…… スタッフ層の方対象

安全に対する正しい知識と認識を持ち、会社の安全方針や取り組みに則して主体的に行動することができる。

## eラーニングで安全を学び Webで試験 (Web Based Testing)

時間・場所を選ばず安全に関する理解・知識習得と、試験の受験ができます。



### eラーニング教材 安全四学

#### 基礎安全学

- 安全の大前提と安全の目標
- 安全とリスクの定義
- 安全と価値観
- 安全における役割と責任 他

#### 経営安全学

- 企業にとってのリスクと安全
- 安全・安心に向かう時代の潮流
- 企業の競争力は安全にあり
- 安全性と生産性 他

#### 社会安全学

- 安全と社会制度
- 安全のための法律と規制
- 安全と責任
- 安全の新しい時代 他

#### 構築安全学

- 安全学における技術的側面
- リスクアセスメントの考え方
- リスク低減とスリーステップメソッド
- 和の安全と安全学 他

### 講師は安全学の第一人者、向殿教授

#### 向殿政男

##### ■主な職歴

1989年 明治大学理工学部情報科学科 教授  
2002年 明治大学理工学部 学部長  
現職 明治大学 名誉教授 (工学博士)  
セーフティグローバル推進機構会長

##### ■その他主な役職

厚生労働省 社会資本整備審議会昇降機等  
事故調査部会長  
経済産業省 消費審議会製品安全部会長  
消費者庁 参与

##### ■表彰受賞

経済産業大臣表彰受賞  
厚生労働大臣表彰受賞  
国土交通大臣表彰受賞  
安全功労者内閣総理大臣表彰受賞



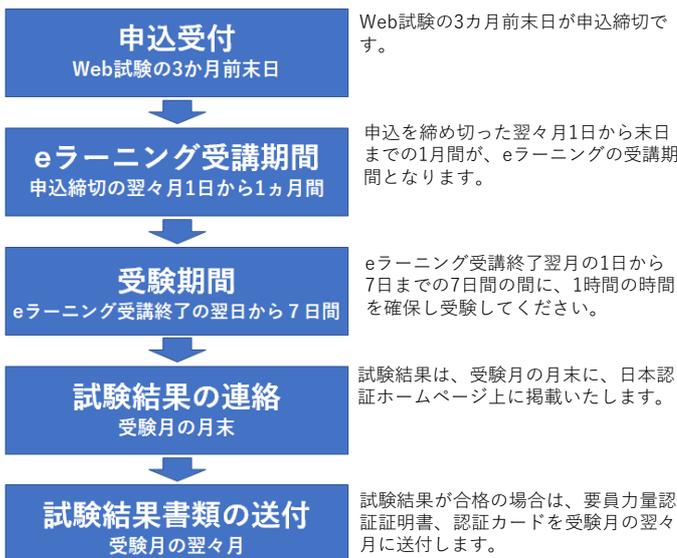
# 受講科目数、受講時間、試験時間について

安全4学	セーフティエグゼクティブ(SE)資格 経営層		セーフティマネージャ(SM)資格 管理者層		セーフティスタッフ(SS)資格 スタッフ層	
	受講科目数	受講時間	受講科目数	受講時間	受講科目数	受講時間
基礎安全学	9	40分	13	1時間5分	14	1時間11分
経営安全学	21	2時間12分	12	1時間30分	10	1時間20分
社会安全学	7	53分	15	1時間23分	8	46分
構築安全学	8	50分	37	3時間33分	15	1時間33分
合計	45	4時間35分	77	7時間31分	47	4時間50分

※受講科目数及び受講時間に変更する場合があります。なお、1科目の受講時間は5分程度です。

Web 試験時間	1 時間以内（各資格共通）
----------	---------------

## 申込と受講・受験日程について



## ■申込方法

- 1)個人申込（4名以下）  
日本認証ホームページトップ画面、右上の「申込・マイページへログイン」より申込み
- 2)団体一括申込（5名以上）  
受験申込書（一括）を使用して、eメールで申込み

申込方法の詳細は日本認証ホームページを参照願います。  
HOME > 資格認証試験 > セーフティオフィサ > 受講申込と結果通知までの流れ  
<https://www.japan-certification.com/certifying-examination/safetyofficer/flow/>

## ■合格発表

- \* 受験月の月末に日本認証のホームページ上に受験番号で発表します
- \* 受験月の翌々月に、結果通知書を個人宛に、団体申込の場合は申込責任者宛てに送付します
- \* 合格の場合は要員力量認証証明書、認証カードも送付します

本資格は、(一社)セーフティグローバル推進機構(IGSAP)が資格認証基準を制定、制度化し日本認証株式会社(JC)が運営しています。

## サーベイランスと資格更新について

### ■サーベイランス

資格制度の一環として有資格者は、資格取得の翌々年度から年1回（6月頃）のサーベイランスを実施します。  
サーベイランスは、所定のビデオを視聴した上でレポートの提出が必要となります。

### ■資格更新(再認証)手続き

資格取得後4年毎(取得日の翌年度を起点にした4年後)に更新手続きが必要です。

## 費用について

### ■受講・受験費用

各資格(SE、SM、SS)共通 受講+受験料(円・税込)/受験者1人

内容	団体(5名以上)	個人
eラーニング受講 + Web試験 + 認証カード	22,000 円	24,200 円

・団体(5名以上)申込の場合、セーフティグローバル推進機構(IGSAP)の法人会員は一人につき下記の金額が適用されます。

\*IGSAP法人正会員：17,600 円      \*IGSAP法人賛助会員：19,800 円

### ■再認証(更新)費用

(円・税込)

各資格共通	再認証費用/1人当たり/4年	13,200円
-------	----------------	---------